

2000年6月号

Enfanter ● No.259

# あんふぁんて

Enfanterとはフランス語で

①子を産む②(計画などを)考え出す③(作品などを)創り出す、の意

いとしのブレ・ママへ  
(山男の歌?の替え歌のメロディで)

娘さん よく聞けよ  
男なんぞには ほれるなよ  
赤ん坊 生んだらよ  
映画も見られない

娘さん よく聞けよ  
男なんぞには ほれるなよ  
おしめを取り替える(特にウンチ)  
男はいないよ

娘さん よく聞けよ  
男なんぞには ほれるなよ  
産休なんぞとる  
男がよ いると思うかよ

詩・加藤  
イラスト・張田



特集

## 田舎での子育て、どう思う? p2

- |                  |     |               |     |
|------------------|-----|---------------|-----|
| ・あんふぁんてからあんふぁんてへ | p7  | ・SAY・性・生のコーナー | p9  |
| ・ひとこと近況          | P9  | ・新入会員自己紹介     | P10 |
| ・情報コーナー          | P11 | ・やっぱり神戸が好き    | P12 |



私は子供が生まれてから二回転動しています。最初は妊娠八カ月の時、新潟の人口一万人、五千人位の所に住みました。隣家もない一軒家で、母親学級に行っても周りは皆な友達同士、生まれたらおばあちゃんに預けて働くという環境でした。ベビーカーで散歩しても会ったのはおばあちゃんばかり。若いのに働かないで子守かという感じがした。夫も忙しく、一年間母子家庭状態で、精神的にすごく辛い子育てでした。(中略)次は栃木の二万人位の町で、転動族ばかりのアパートで子供が沢山いて、公園もいつもにぎやか、ストレスを

北海道島牧郡  
北道島牧郡

## 田舎暮らし

### ここが苦手



感じることもなく、すぐに友達が出来て楽しい子育てができました。二人目も生まれ二年間いましたが、次は生まれ故郷の北海道へ転動です。

三月に実家から車で一時間半位の人口二千三百人の村へ来ました。長男を四月から三年保育に入れました。友達の家が周りに全然いないのです。(中略)それでも夫が早く帰るようになったのと、二人目の余裕？育児、長男のバス停までの送り迎えのおかげか、今の所新潟に居た頃のようなストレスはたまっていませんが、十一月から四月まで雪なのでほとんど家の生活になります。みんなこーやって子育てしているのかな？栃木での楽しい子育てを経験してしまっただけに、ここでの子育ては少し淋しいです。新潟での密室育児の経験から、この村へ来てすぐに絵本の読み聞かせの会に入りました。その会で月に一、二回、入園前の子供を対象に、自由に遊ぶ場を作り活動しています。私のように田舎で子育てサークルもない所を転動している方の話を聞いてみたいです。

#### 心中は複雑です

船橋市

いい事も悪い事もあったので心中は複雑です。ただ、毎日見る風景が壮大で、寒さも暑さもたっぷりあるというのを、子供が育っていく中で、出会わせてあげられたのは良かったと思っています。良かったと思われる点は、余計な情報(幼稚園関係、早期教育、公園デビューなどのくだらないこと)がなかったの

で、わずらわされなかった所。目の前にあるからふりまわされるのです。なければ平気。しかし、私は二度と住みたくなかった。田舎には専業主婦の居場所はない。田舎で仕事をやりながら生活するならまだ我慢できるが、田舎で夫と子の帰りを待っているのはあまりにもさみしい。そこに生まれた人なら出来る事でも、ヨソから来たものにはつらい事はかなりだ。山と川と田と畑の中で、その中で人間として強く生きてゆくには、何か大きな一つの頼れる柱があるのだ。(中略)私は田舎において、その柱がまだないので、生活してゆけるとは思えない。その風景に憧れ、会いに行きたいことはままあるが、その中に埋もれようとは思わない。まだまだ強くないんです。

#### 大変です。子供会。

匿名希望

## 特集

### 田舎での子育て、どう思う？

引っ越した先が今の住まいより田舎だった。  
そんな時、あなたは どうしますか？



#### アンケート

##### 結果より

#### Q① 現在の住まいは

都会 17人  
田舎 8人

#### Q② 田舎で子育てしたいですか？

★どっちもOK 1人

★わからない 4人  
(子どもにはいいけど自分は嫌)

★YES 12人

- ・自然が豊か
- ・交通量が少ない
- ・勉強面でのんびり
- ・物にふりまわされない
- ・自然と人間の一体感、力強さ、大きさを感ずる
- ・子どもがのびのび
- ・「地域で子育て」できそう
- ・遊び場がある(与えられる場所ではなく自ら選べる)

#### ★NO 4人

- ・近所づきあいにない
- ・不便(車が絶対に必要)
- ・閉鎖的
- ・友達が少ない
- ・育児に対する考え方が保守的で干渉されそう
- ・文化施設がない
- ・店の質、量とも劣る
- ・親のストレス発散の場所が限られてくるので、いらいらして子育てにも影響しそう
- ・親にとって文化的情報源がない
- ・旧住民、新住民の区別がある



## 少し違った

## 視点から



限定つきの暮らし、きっとその土地の御座敷しか知らないのでしょう。茶の間まで入れば、人間関係のうっとうしさも沢山あるかも。私自身は、東京の借り上げ社宅の方が人間関係がうっとうしかったんです。みな初めて東京に来た人ばかりで、心は排他的なのに、イナカモノと見られまいと背伸びしている感じで、つきあい方が難しかったです。きっと、どこの土地に住むかというより、そこで日常を共にせざるを得ない人との関係次第です。しかし、その社宅の関係も今では人生の肥やしと思えます。今なら同じメンバーでも、もっとうまく、楽しくやれる、と。

## 妻も住む土地を選ぶ

小金井市

私は七才から三十四才（転勤で山口県岩国へ移った時）までずっと東京で育ちました。（中略）私自身が田舎にはまったく合わない人間なので、とにかく早く帰りたいと思いが、岩国での二年間を過ごしました。母親が心地よく過ごせないと、育児が楽しめないのは当然の結果だったのかもしれない。私はしよっちゅう長女に手をあげていました。二年の間に広島あんふぁんての方たちと交流。まだまだパソコン通信が広まっていなかったけど、今なら少し違って来てるかもしれない。地方にいても全国の人と交流しやすいでしょうね。

結論を言うと、私は夫の転勤に妻と子が無理してついていく事は無いと思っています。ついていく事が苦にならない人はいいますが、私は今後は転勤にはついていかないことを夫との話し合いで決めました。勇気を持ってNOと言うことも必要ではないでしょうか？東京に帰ってからは仕事も始めました。経済力がないとちゃんと物が言えないからです。ですので、このテーマとはちょっとずれるかもしれませんが、妻も住む土地を選ぶよ、と言いたいです。



## どこに住んでも

## 考え次第



楽しく暮らせれば、  
それでいいのでは？

上福岡市

田舎へ帰ろうかと思ったこともありましたが、（山口県萩市）子供三人を見た時、下の娘はともかく上二人は多分なじまないと考えたのでやめました。でも、私の老後は萩で過ごしたい。都会の生活はキビシイだろうとか他にも考えがあるので、どこで子育てしても自分と子供が楽しく暮らせればそれでいいと思って。都会か田舎かなんて一長一短それぞれあるし、最終的には好みの問題ですね。

## 田舎暮らしも

## 良かったよ



## 色々な世界を体験したい

匿名希望

私の場合主人の会社の移転に伴い、田舎へ行きました。地元の方々にも暖かく受け入れられてはもらいましたが、どことなく、よそから来た人、という一線を常に引かれていたような感じはありました。子供の為にはもっと田舎にいたかったと思います。ただ、再び転勤で都会に戻ってきて一番はっとしていたのは私です。（生まれも育ちも都会なので）やはり住み慣れている所が自然と心落ちつくのかもしれない。

もし今後また田舎に転勤になっても行くと思います。一度しかない人生をより豊かに過ごすには一カ所にずっといるより色々な世界を見て体験したいし、子供にも体験させてやりたいです。外国にも日本の色々な所にも行って老後はこの都会に戻ってくるのもいいと思っています。

## 「期限付き」だから？

でも、貴重な体験

盛岡市

夫の転勤で盛岡にきた。その前は東京にいたので様々な面を感じている。私にとってこちらでの生活は全てに満足という訳ではないが、それでも「子育て」という面を考えればとても恵まれていると思う。（中略）二年半前こちらにきた当初、友達もいないし通りは静かだし、「さびしい」と思ったものだが、徐々に友達も出来てきて、慣れてくると今度都会に住むことになったらついて行けるかしらと不安になる。ただ、都会にはネットワークが沢山あったり、仲間が大勢いたり、色んな人間を許容する雰囲気があったり（都会にもよるけれど）文化面が充実していたり、刺激も多いし福祉も進んでいる、という良さがある。だから絶対に子育ては田舎の方が良いとは思わない。それでも盛岡でのんびり子育てできるのは貴重な体験だと感じている。（中略）我が家の場合、転勤でこちらに来ていたところ、期限付き」だから楽しめるというところ、は否定できない。「田舎に永住」となるともっとマイナス面も見えてくるだろう。

## 今思えば、懐しい

練馬区

今中一になる息子が、一才から三才になるまで二年間、夫の転勤で熊本に住んだ。大きな社宅だったので、地元の人は多いが、色々な地方から来た人がいて助け合って暮らせた。とんでもないチビの息子に、野球しようよ、とか声をかけてくれて、べったり私が毎日公園に連れて行かなくてもどこかしらで安全に遊んでいた。しよせん二年間の腰掛けだったので、深く根づいた場合にはもっと嫌な所も見えただろう。とにかく子供が小さいうちは田舎もよい。条件はなるべく色々な人のいる所がよい。プラスアルファで忘れていけないのが妻の生きがい。コレがないとまた孤独。私はお菓子づくりが大好きで、何でも手作りして、近所の友人と競い合ってた。ミソも作ったしモチもついた。今は全くやらないけど、ああいう時期もあったなあと懐かしい。

## どこに住むかより人間関係次第

名古屋

夫の転勤で富山市に四年いました。田舎といっても県庁所在地。生活の不便は感じませんでした。（中略）地元の人は、おばあちゃんの子をみて、ママは働く、という家庭が多く、日本の女工主婦OR独身キャリアウーマン、というイメージ以外に、地に足をつけ、家族で生きている人々を知ったのも視野が広がりました。しかしこれは、四年という



昨年十月号「都会と田舎の子育て環境の違い」を読んで  
盛岡市

そーだ、そーだ、と思いつつ読みました。私は、生まれも育ちも田舎人。オギャーと声をあげたのは田んぼの中……（いくらなんでも、ここまでではないか。いや、いや、ちゃんと病院で生まれました。今から三十四年前に）。実家は、兼業農家。共稼ぎの両親だった。祖母が私の面倒をみてくれた。ものすごく人見知りだった私は、近所の数少ない子どもたちともあまり遊ばず、祖母にべったり。字が読めるようになると、読書やテレビにあけくれた。結婚して生まれてはじめて都会生活をしてみた。そこは、車で動くより電車と徒歩の方が動きやすく、あふれる情報とモノに囲まれたところ。子どもが生まれた頃は、早期教育や公園デビューがさわがれていた。母子カプセルや父親不在なんかもあったしね。なんだか満たされているように、実はものすごく孤独な世界だった気がする。あそこで生活しなかったら、きっと食にして

## あんふぁんてから

あんふぁんてへ



も無頼着。母子カプセル・密室の子育ての苦しさもわからず、早期教育や公園デビューという一種特権現象も知らずにいた。う。う。（地元で結婚した友人と話してみても友人たちは、どこかピンとこない様子だもの。）そして、田舎に戻ってきた。と言っても盛岡なので、まるっきりの田舎ではないのだけれど……。（実家は、一閑です。市街地から車で十五分ほどの田んぼと畑がある山のおうちです。）やっぱり、盛岡でもギャップは感じた。都会では、公園にあふれるほどのママ・キッズがいたのに、ここには、どこへ行っても淋しくぶら下がった風に見えるだけ。子育てサークルも話してみると皆転勤族など。私が都会にかぶれてしまったところ。まあ、早期教育が盛んでないところ。はうれしかった。

田舎方式で育てられ、都会方式（私が出会ったのは、いろいろある育て方のうちのひとつにすぎないが）で育てるハメになり、少し田舎方式の場所へ戻ってきた。ちよくちよく実家に帰っているの（なつかしいの？）田舎方式も親という立場で体験しているが、場所によって違うものかと思える。私にとりて、両方を体験したことは、プラスになっていて、自分はどう生活していきたいのかなど、自分について見つけられたから。（完璧な結論はまだ出そうにはないけれど、まだゴチャゴチャやっている途中。）これだけはハッキリ言える。私には「都会生活は向いていない」。働く・遊ぶ・学ぶ場所としてはいいけど、私、根っからの田舎人かも。

## 四月号の さんの意見を読んで

横濱市

普通の子育てで生きていきたいだけなのにそれが一番難しく、時に、普通すら存在しない世の中なのと怖くなる事があります。民主主義だからと権利ばかり主張しがちな世の中だけど、そのはざまでも子どもを餓死させてしまったり、五千五百万円も脅し取られたりしてしまったり、母もいる。選択することというのは、生活力（経済的なものと精神的なもの）がない人にとってはすごく難しい。それを、本人の責任だと突っぱねるのは本当に住みやすい社会なのかしら？

「人とのつながり」これは本当絶やさないようにしたいですね。

昨年七月号、いじめのおたよりを読んで

宇都宮市

（二十五才、サラリーマン）が、中一の時、いじめられた。上ばきで顔をたたかれたらしい。そうすると朝起きない。私に「学校休む」と言う。私は「じゃ、カゼと電話しておこう」と言う。それで二日ぐらい休むと、学校へ行ったら。偶然、不登校にはならなかった。いじめはセクハラと同じです。被害者、加害者をあてはめると実によく似ている。いじめっ子は、罪の意識がない。みとめない校長、教育委員会等は、つまり人間の器が小さいのだ。

## 愛想の良い無視精神で

豊島区

田舎での子育てと一言に言っても、親自身が田舎で育ったかどうかで感じ方は違ってくると思います。私は田舎（埼玉・）で高校まで育ちました。実家はお寺でしたので、いつも他人が家の中に居て、沢山の子供たちが（兄弟三人なので）いつも出入りしていました。大きな輪の中で、悪いことをしたら誰かが叱り、良い事はみんなほめてもらい、という様な中で育ちました。でも個性をつまらぬ中であつた。皆なと同じじゃつまらないといわれ続け、一人一芸という事を素晴らしい事だと思える様に育ちました。（中略）田舎へ転居したりして子育てが始まる場合、都会も同じですが、近所の目に見えない強い圧迫を感じると思うのです。でもそれはどこに居ても同じと開き直り、挨拶はいつもニコニコとして、何を言われてもウンウンとうなずき返事は良くして、実行はせずという態度を持ち続けて、愛想の良い無視精神を自分の中に築き上げて子育てしていくしかないのだと思います。



池袋は行政サービスも充実してたし、山の手線の内側に住んでたので交通の便はとも良かったが、排ガスで子ども達は喘息だった。夫が仕事を始めるための資金も必要だったし、上と下がそろって中学と小学校に入学だったので、思いきってマンションを売って、埼玉県に引越したのが二年前の春。

伊奈町は、梨畑の広がる静かな所。JRが通っていないので、商店街はない。

築三十年のボロ家はトイレは吸み取り。ちょっと床が不安。住めるのは持たせて五年かな？家の中にナメクジが這うのを私は初めて見た。屋根裏にすずめの巣があるらしく、春先へビがねらって入り込む。土いじりしたらお休み中のカエルがあちにもこちにも……。学区区がやたらと広くて、四十分かかって登校するので、朝食が三十分早くなった。

昨秋「ようこそ先輩」という番組に学校の子ども達が登場し、懐しくて皆で見たら、「校

## 田舎暮らし

埼玉伊奈町

## 特集を担当して

舎、キレイだったナー」「給食もおいしかったネ」と、上二人はしみじみと言った。池袋で生まれ育った子ども達にとっては、思い出も友達もあり、雑踏にホッとする気持ちもあるようだ。でも中学生の息子は「伊奈には、無駄な物がなくて好きだ。ビルも人も車も排ガスもないから、さっぱりしてる」という。ショッピング好きの妹は不満らしいが、私も息子と同じ気持ちなので、彼女達が将来、何を感じるか楽しみにしている。

金子



## 『SAY・性・生のコーナー』第10回

## 避妊 ①

随分前、テレビで見たのだが、十代の妊娠中絶が、大きくクローズアップされるもの、全体数で最も多いのは、既婚者の中絶なのだそう。ある調査では、既婚女性の三割が中絶経験があるという。中絶が避妊の最終手段になっているのかもしれない。

そこで問題。

① あなたが必要なら実行できる避妊方法をすべてあげてみてください。

② 日本で多く使われているコンドーム、正しい使い方は？

①は、知識としてなら結構あげられるけれど（コンドーム、ベッサリ、ピル、基礎体温、IDUなど）自分が実行できるとなると、コンドーム、正しい使い方は？

②の模範解答は、次のとおり。

- 製造年月日を確かめる（箱のままなら三年くらい）
- はじめからつける
- 根元まできちんとつける
- 終わったら速やかに指で押さえて抜く
- 爪などにひっかけないよう注意する
- よく言う「安全日」もないと思った方がいい

## 【参考図書】

「素敵にパートナーシップ」村瀬敦子・村瀬幸浩／大月書店 一九九七年  
「アダムのイブのやぶにらみ」池上千寿子／はまの出版 一九九六年  
「ジェンダーとセクシャリティー」石元清英他／嵯峨野書院 一九九六年

いこのこと。自分の安全日を知るには、まず自分の月経周期のデータが必要。最も長い周期と最も短い周期の幅の差を、更に精子の子宮内での生存期間を考慮にいれると、「安全日」は、ほとんどないに等しい。「次の月経の約二週間前に排卵が起こる」だろうという仮定に立っているのだから。

避妊法とはいえないけど、どの本にも書いてあるのが、体外射精。射精の前に分泌される液体にも精子が含まれているのだから、射精のタイミングで正確にわかるのだろうか？ 残念ながら不確かな避妊法と言われながらも、実行している避妊法の上にランキングされている。

避妊を考える時、そのカップルの関係のありようがそのまま反映されているように思われる。「イヤ」と言えなかったり、避妊のことを口に出せなかったり、避妊のことなんてお構いなしのパートナーに不満を持ったり、言葉に出して伝え合う「わざ」は、学校では教えてくれない。自分で磨いていくしかないだろう。もちろん相手にも磨いてもらいたい。

（村瀬）

あんふぁんてから  
あんふぁんてへ

子どもがひき逃げ事故に・・・

東京都羽村市  
事故は、昨年十月一日（金）午後三時頃、自宅マンション前の道路で起こりました。次男・（小一）が、自転車道で道路に出ようとした時、左から来た車と接触しました。丁度、軽トラが駐車中だった為、には、左側から来た車が見えなかったようです。

接触地点は、車道と歩道の境の白線上。つまり、加害者がかなり右側に寄って来たという事です。加害者は、一度減速しましたが、そのまま走り去りました。

加害者のすぐ後ろを走っていたバイクのお兄さんが、車種、ナンバー等を覚えていてくれました。

## 【結果】

一、警察の対応

警察は、被害者が大した事がなければ何もしてくれません。何度も警察にその後の様子を聞きに行くことが大事です。それも、父親の方が有効です（くやしければ）。被害届を出す。この書類を出せば、警察は、調べざるをえません。

二、目撃

いくら、加害者の車種、ナンバーを覚えていても、ダメです。プレートの「練馬」「八王子」等の地名と「あ」「い」といった平仮名の部分がわからなければ、コンピュータでは調べようがありません。何しろ情報もものすごく多いので、色も塗装を替える事は、簡単なので、あまり意味がありません。

【私の場合】

私の場合は、車種、色、ナンバーも大きな数字しかわからず、被害も大した事がなかった。警察は、動いてくれませんでした。

警察とのやりとりは、夫に任せ、私は、手紙作戦。まず、近所の幼稚園に手紙を配ってもらい、子どもの友達、自分のサークルの友達に情報提供を求めました。市議にも知っている人がいたので手紙を書き、地元の町内会長にも手紙を送りました。また、校長にも相談に行きました。そこで知ったのは、警察は何も教えてくれないということでした。

長男（小四）のクラスメイトに警察官の息子がいたので、お父さんに事故のことを話し、警察の事故処理の方法を教えてもらいました。また、偶然、お父さんが法務局のお役人という人もいて、いろいろと相談にのってもらいました。

ました。

一番大事な事は、一人でいると考えてしまうので、他人に情報提供を呼びかけることです！夫婦の協力も大切です！

結局、加害者は、私が自分で見つけました。ひき逃げしたようなオヤジだったので、「ひき逃げをぶつけた」などと最後までたわけたことを言っていました。だから、私は、一筆書いて、実印を押さしました。「ひき逃げした」といって、ね！未だにあのオヤジのことを思い出すとイライラします。

もし、ひき逃げ等で困っている方がいたら、何でも相談にのります。私の分かる範囲で、ちなみに、うちは、私だけが事故にあっていません。夫は、ドイツで「よく生きていた」と医者にいわれた程のけがをしました。（長男）も年長の時クルマにぶつかっているし、でも今回の加害者ほど、ひどい奴はいませんでした！バカヤロー！！と叫びたいくらい。



## 振込用紙で

ひとこと近況です♡



※会費を振り込む際、振込用紙の「通信欄」にお便りください。会報に掲載します。

松戸市

女性センター「ゆうまつど」でギャクタイのビデオシアターに参加しました。カウンターの所に「あんふぁんて」がファイルしてあるのが目にとまり、見ておもしろそうだな、勉強になるな、私と同じだ、などの思いから、あんふぁんての資料をとりよせました。育児に悩んでいます。また、お手紙します。

横浜市

会報を楽しみに読んでいます。OG会（古い会員の会）にも行きたいと思うのですが時間が取れなくて行けません。いつかチャンスを見て行きたいです。

世田谷区

何か始めなければ私を変えなければ...といつも思っているのですが、なかなか...。平凡でスタンパで押したような毎日です。

※小出さんは、三月号で募集した、特派員に手をあげてくれました。世田谷区の人にインタビューして、まとめてくれる予定です。





## やっぱり

## 神戸が好き

⑥

(前回までの話)一九九五年一月十七日未明、地震。自宅より海よりの実家で両親の無事を確認し、実家近くの避難所で夜を迎えた。

神戸市

体育館の中は、比較的静かで、余震のたびに起きるとよめきと「○○さん、いますか？」と人々を尋ねる声、「痛い。踏むなよ。うるさいな」といった、とげとげしい声が時折聞こえるだけでした。

あの地震は、今朝の事だったのだろうか、もっと前の事だったのだろうか。あまりにも長い一日を過ごしたせい、か、時間の感覚がなくなってしまうよう、地震が起きた事さえ現実ではなく、夢の中のでき事のように感じている自分がいました。けれども、余震が来るたびに、「あっ、やっぱり地震は、あったんだ」と現実を引き戻されました。

そんな事を感じながら、ふと上を見上げると、開いている窓の外に、月がぼかりと浮かんでいました。きれいな満月で、その光がとても暖かくやさしく明るくて、体育館の中に一筋の光となって差しこんでいました。「きれいな月。月ってこんなに明るいんだ」と思っている、隣のおばあさんが、「何が悲しゅうて、こんなきれいな月の夜に、こんな目に会わなアカンやろな。パチが当たったんやな。山削って海に持って行って、そんな事

ばかりしとうから、神様が怒ったんやな」と一人言を言っていました。それを横で聞いていた私は、まさしくそうだと思いました。神戸株式会社と呼ばれ、自然の摂理に反しながら、前を向いて走り続ける神戸の街に、「ちょっと待ちなさい」と神様は、一石を投じたかったのかも知れません。そのような神の存在を感じてしまうほど、地震は、恐ろしく、人の想像を超える事を、たくさん引き起こしていたのです。

いろいろな事が頭の中を駆け巡り、ますます目が眩み、眠れなくなっていました。子どもたちは、眠っているのか、恐さからなのか、じっとしたまま動きません。夫は、万が一の事を考え、車の中で眠っていました。母は、体を伸ばす事ができず、つらそうなので車の中でシートを倒して眠ってもらうことにしました。みんなが、それぞれに少し落ち着いて来た頃、空が白み始めました。

そして、「大切な話があるから」と各世帯の代表が集められました。「今、浜にあるガスタンクに亀裂が見つかったそうです。爆発の可能性があるので、R2(国道2号)より上(北)に逃げて下さい。ゆっくり、あわてず・・・」もし、ガス爆発が起きれば、一面火の海になるのは明らかです。その場面が想像できるだけに、恐怖は倍増し、体中鳥肌が立ちました。予期せぬ恐怖と予期できる恐怖。せつなく地震で生き残った生命を、こんな事で失いたくない。そう思っていました。

あんふぁんてホームページアドレス <http://>

## ☆事務局までの地図☆

☆当会について詳細を知りたい場合、封書に〒・住所・氏名・☎を明記し、切手四百円分(なるべく少額切手)を送って下さい。入会希望の場合はなるべく会費六ヶ月分(三千元)以上まとめて、郵便局の振替口座に払い込んで下さい。

第259号 (毎月1回5日発行)  
2000年6月5日発行  
(1975年7月26日初刊発行)

あんふぁんて 6月号

発行人 /  
発行所 / あんふぁんて出版部

電話  
(☎平日12時~2時それ以外FAX)  
定価 / 500円  
振替口座 /  
加入者名 / あんふぁんての会

©本誌掲載記事の無断転載を禁じます。